



山本五十六・鈴木貫太郎等からの名刺・手紙

個人所蔵

進信蔵の死去に際し、平意を伝える名刺やハガキと進中佐の父親に宛てられた遺中見舞いハガキなど。山本五十六は大艦巨砲主義の海軍の代表者として、早い時期から戦闘用飛行機の可能性を窺い、太平洋戦争開戦後、聯合艦隊司令長官として戦闘用飛行機による真珠湾奇襲攻撃を遂行し、成功させた。鈴木貫太郎は日本がポツダム宣言を受諾して決定した際の内閣総理大臣で、日清古の進信蔵石碇を揮毫した。

山本五十六 閣下へ
 閣下が御逝去に際し、平意を伝える名刺やハガキと進中佐の父親に宛てられた遺中見舞いハガキなど。山本五十六は大艦巨砲主義の海軍の代表者として、早い時期から戦闘用飛行機の可能性を窺い、太平洋戦争開戦後、聯合艦隊司令長官として戦闘用飛行機による真珠湾奇襲攻撃を遂行し、成功させた。鈴木貫太郎は日本がポツダム宣言を受諾して決定した際の内閣総理大臣で、日清古の進信蔵石碇を揮毫した。

山本五十六 閣下へ
 閣下が御逝去に際し、平意を伝える名刺やハガキと進中佐の父親に宛てられた遺中見舞いハガキなど。山本五十六は大艦巨砲主義の海軍の代表者として、早い時期から戦闘用飛行機の可能性を窺い、太平洋戦争開戦後、聯合艦隊司令長官として戦闘用飛行機による真珠湾奇襲攻撃を遂行し、成功させた。鈴木貫太郎は日本がポツダム宣言を受諾して決定した際の内閣総理大臣で、日清古の進信蔵石碇を揮毫した。

海軍中將 枝原百合一
 謹賀新年

海軍少將 若村 登言
 謹賀新年

謹賀新年
 男爵 鈴木貫太郎

鈴木貫太郎
 謹賀新年



進信蔵中佐が着用した勳章
 海上町教育委員会所蔵 (寄贈所蔵)



海軍省
 進信蔵氏ノ靈ニ告ク

進信蔵中佐に贈られた手紙
 海上町教育委員会所蔵 (寄贈所蔵)

昭詞

謹ミテ故海軍中佐 進信蔵君
 進信蔵氏ノ靈ニ告ク
 君ハ本月八日房洲館山
 沖ニ於テ夜間飛行訓
 練中機體ニ故障ヲ
 生シ機艇ト共ニ沈没
 殉職セラルル嗚呼悼シ
 哉
 今ヤ時局多難ノ際此
 ノ不幸ニ遭遇ス誠ニ
 痛惜ノ至リニ堪ヘス
 然ルニ君ハ幾多軍人ノ
 魁鑑ニシテ英靈ハ長
 ヘニ護國ノ神タリ
 葛城村ハ君ノ爲メ特ニ
 村葬ヲ以テ祭ル嗚呼
 盛ル哉
 君幸ニ瞑目セラレヨ
 茲ニ弔儀料ヲ供ヘ謹
 ミテ弔詞ヲ呈ス
 昭和八年二月十九日
 日本赤十字社長
 正二位勲一等伯爵徳川家達